

8月3日：新型コロナ感染拡大防止への期待から反発

ベトナムでは新型コロナ感染拡大防止へ政府が積極的に取り組んでいることが好感されベトナム株は反発を見せた。

ホーチミン取引所のVN指数は2.04%高の814.65ポイントで取引を終えた。

先月以来の2番目の大きな上昇だった。7月28日には3.59%高で取引を終えていた。

同指数は先週3.71%下落して取引を終えていた。

新型コロナ第二波への懸念に対する市場心理は当局が感染拡大を防止するために最善を尽くすという首相の発言で和らいだ。

日曜日に首相は新型コロナから立ち直るために銀行セクターはさらなるサポートを打ち出すように要求した。

月曜日には、大型株はまちまちの動きであった。

市場心理が改善したことで大型株が相場を牽引した。VN30指数は2.31%高の757.86ポイントで取引を終えた。中小型指数も2.48%高、2.72%高だった。

VN30先物指数は8月20日に2.34%上昇し742ポイントで取引を終えた。

VN30指数の中では、29銘柄が上昇し1銘柄のみが下落した。

TTC製糖(SBT)、ホアファットグループ(HPG)、マッサングループ(MSN)、SSI証券(SSI)、ビナミルク(VNM)、ペトロリメックス(PLX)は上昇した。

KB証券によると、ベトナム株式市場は感染者の増加にも関わらず落ち着きを取り戻していると語った。

コロナ感染拡大の懸念は株価に織り込まれたと同氏は語る。また、当局が感染拡大抑制に積極的に動いていることも市場心理を改善させている。

サイゴンハノイ証券によると、本日の上昇は流動性の改善と伴ってなされた。市場に資金が戻ってきていることを示しているとのことだった。

しかし、短期的には市場は下落の可能性が残ると同社は予想する。VN30先物とのギャップは今後の下落を示唆している。

ハノイ取引所の HNX 指数は 2.72% 高の 110.43 ポイントで取引を終えた。

同指数は先週合計で 1.7% 安となっていた。

出来高は 3 億 4700 万株で売買代金にして 5.23 兆ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。